

## 始業式式辞（平成 30（2018）年 4 月 9 日（月））

平成 30 年度の始まり、1 学期の始まりにあたり、御挨拶をします。

簡単に言うと、滝部のローソン前に新しくできたパン屋さんでパンを買おうというお話です。

難しく言うと、変化に敏感になって欲しい、変化に上手く対応して欲しいというお話です。

滝部に新しく、パン屋さんができるということを知っている人、どれくらいいますか。手を挙げてみてください。

では、このパン屋さんに行ってみたことがあるという人、手を挙げてみてください。

そんなものができたなんて知らなかったという人、手を挙げてみてください。

知っているという人は、ある意味、変化に敏感な人と言えるかもしれません。それとも、パン屋ができたということがこの地域ではすごいビックニュースなのかもしれません。

実際に買いに行ったという人は、変化に上手く対応できる、変化を上手く使おうという意識がある人といえるかもしれません。

つい先日まで、あれほど寒かった豊北の地も、春の訪れとともに、こんなに暖かくなり、気がつかないうちに、桜の花びらが散りかけています。自然の変化に気がつく豊かな感性があれば、人生はもっと楽しくなるでしょう。

今朝、学校に登校し、去年とは違う教室に入り、去年と違うクラスメイトに囲まれ、新しい担任の先生が教室にやってきました。朝から変化の連続です。春休みから部活動をしている人は、一足先に、新しい顧問の先生にも出会い、部活動の雰囲気もこれまでと変わったことでしょう。

そして、1 年生は 2 年生になり、2 年生は 3 年生になりました。

3 月 31 日と 4 月 1 日、1 日違うだけで、こんなにも変わるんですから、年が明けるとか、年度が変わるとか、人類はすごい発明をしたものです。

変化は、時にわくわくするものですが、時には不安になるものです。また、変化を好む人、変化を拒む人、それぞれですが、皆さんはどちらのタイプですか。願わくば、若い皆さんには、いいことも、悪いことも全てを前向きに受け入れて、不平不満を言わず、できれば変化を生み出す人間になって欲しいと思います。

なぜなら、私たちの身の周りには、どっちみち絶えず、いろいろな変化が起こっているからです。

なぜなら、環境の変化は成長のチャンスであり、成長は変化することだからです。

なぜなら、不平不満も元気も口に出した瞬間に伝染するからです。どうせ伝わるのなら、元気を伝えて欲しいと思うからです。

そして、私たちは、今、もう一つ大きな変化の真っ直中にいます。他校の高校生では経験できない変化の真っ直中にいます。いつの間にか、校門前のバス停が下関北高校前になっていました。下関北高校という新しい学校が誕生し、午後には、その 1 期生を迎えるということです。

この大きな変化を、下関北高校の 1 期生だけでなく、2，3 年生も生かして欲しいと思い、今年のチャレンジ目標を「Chance, Challenge, Change」としました。

それぞれの変化を、チャンスとして捉え、自分ができること、しなければならぬことから逃げず、積極的にチャレンジして、私たちも学校も大きく成長して欲しい、そんな 1 年に、そんな学校をつくっていきましょう。